



12月の図書館開館について

～12日 8時半～19時
15日～21日 8時半～16時半
13日、22日 8時半～14時
ただし、学校休校日と12月11日は閉館します。
12月23日～1月7日まで閉館します。

1月8日から、通常通り開館します。

2025年4月～11月 学年別貸出冊数トップ3

今年度の4月～11月末までの貸出冊数の多いクラスを紹介します。1年生は4月のオリエンテーションで全クラス必ず1冊借りてもらっているのですが、自教室は図書館からは遠い場所ですが、3学年のうちトップの貸出冊数(1427冊)となっています。これには、図書委員さんの活躍も、重要な要因となっていて、今年度1部で貸出冊数の多かったクラスは1年O組でした。(昨年度は、2年生でした)

1部貸出冊数の合計は2701冊、一人当たり2.24冊の貸出冊数となりました。

2部の貸出トップ3は以下の通りです。貸出総数は1352冊、一人当たり3.78冊の貸出冊数でした。

図書館は、本の貸出をする場所だけではなく、自分だけの時間をゆっくりと過ごす場所でもあります。最近、図書館に行っていないと思う人、ぜひ天高図書館に、立ち寄ってください。新しい発見があると思います。

第1学年

★1位 O組(217冊) ★2位 N組(213冊) ★3位 H組(148冊)

第2学年

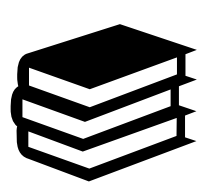
★1位 O組(105冊) ★2位 F組(104冊) ★3位 N組(64冊)

第3学年

★1位 G組(167冊) ★2位 N組(151冊) ★3位 O組(131冊)

II部

1位 2年2組(206冊) 2位 3年3組(156冊) 3位 4年2組(149冊)



最近!

「ちょっと気になる本」を
図書館から紹介します!

『ここで唐揚げ弁当を食べないでください』

おばらばん

小原晩 著

実業之日本社



鈴木保奈美さんがMCを務めるBSテレ東番組「あの本、読みました?」(木曜日10時)でエッセイの特集がありました。その時に紹介されていたのがこの本です。自費出版から異例の大ヒットとなり、5万部突破(2025年6月)した話題の本です。一つの話が短い(2～6ページ)ことも読みやすさの理由だと思いますが、内容がとても面白く、どんどん読み進めることができました。

東京に出て来た作者は、進学、就職、友人関係など、楽しいことばかりではなく、苦しいこと、辛いこともたくさんありましたが、最後は全部笑いに変換できるエネルギーがあり、爽快な気持ちになります。元気をもらえるエッセイです。

『ほどなく、お別れです』 長月天音 著 小学館

2月に目黒蓮さん、浜辺美波さんが主演で映画化されます。大学生の美空は、「板東会館」という葬儀場のホールスタッフのバイトをしています。ある日、葬祭ディレクターの漆原から、次の葬儀の手伝いをするように、美空に声がかかります。彼が引き受ける葬儀は、問題案件を抱えるものが多く、その手伝いすることに美空は不安に思いますが、断ることができません。漆原が美空に声をかけたのは、美空が持っている不思議な能力を必要としていたからでした。彼女が持つその能力とは…?!

この作品を読むと、葬儀は遺族にとって故人との悲しい別れだけでなく、悲しみから立ち直り、新たな出発をするための場だと思えるようになりました。



図書委員会主催による 「青空図書館」開催!!

11月26日(水) 昼休みに、総合体育館前にて、「青空図書館」を開催しました。図書委員が中心となり、企画した取り組みです。選書、ポスター作製、ポップ作成、事前の放送による広報活動、貸出業務、貸出本のカバーかけ、プレゼント用のしおり作り、読み聞かせなど、多岐にわたる仕事を分担して取り組んでくれました。予想以上に、たくさんの方が来館してくださり、大変有意義な時間となりました。これからも「本が身近になる図書館」を目指して、図書委員会活動に取り組んでいきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。



12月1日(月)から冬休み長期貸出を開始しました。一人10冊まで借りることができます。返却日は、1月8日(木) 始業式です。この機会に図書館に来て、本との出会いを楽しんでください。

